

市民や各種団体が協働して自らが住む
Citizens and various organizations work

まちの課題解決に取り組んでいます。
together to solve the problems of the city.

地域力向上推進

Improving Community's Vitality

The comprehensive strength that the local residents tackle challenges such as support for the elderly and child-raising, crime and disaster prevention is called "the Community's Vitality". Residents' associations, community centers, local social welfare councils and other local organizations work together to expand efforts to resolve the issues. There is wide range of activities planned and implemented by the residents themselves in each community. The government supports these activities with the goal of making the communities more comfortable and pleasant places to live.

高齢者支援、子育て支援、防犯・防災など、地域が抱える課題を地域住民自らが関心を持ち、解決していくための総合的な力を瀬戸市では「地域力」と位置付けています。自治会・公民館、地区社会福祉協議会など地域の各種団体が協働して、地域の課題解決に向けた活動を展開しています。現在、瀬戸市では16の地域力向上推進組織が設立され、各地域で住民自らによる企画立案のもと、多種多様な活動が展開されています。今後も、それらの活動を支援していくことで、地域をより快適で住みやすいまちにしていきたいことを目指します。

道泉地域力推進協議会 道泉みこし祭り

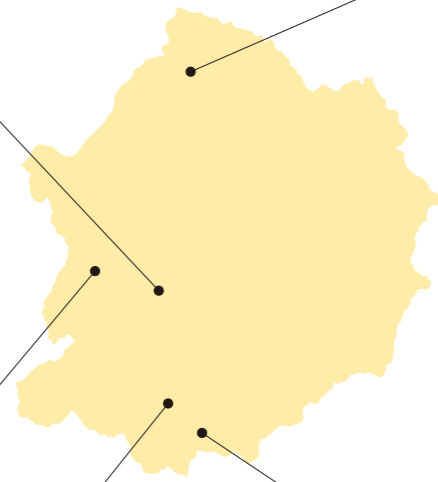


「せと陶祖まつり」にあわせて、毎年開催しています。銀座通り商店街を抜けて深川神社に至る道のりを威勢よく練り歩きます。

西陵地域力推進協議会 「花と緑で潤いのある街づくり」事業



街中が華やかのように、地域の公園や歩道などに花壇を作り、季節ごとの花の種や苗を植えて育成する活動を行っています。



掛川地域力向上委員会 子育て支援事業「里山体験」



ジャガイモやサツマイモなどの作物を、植え付けから収穫まで行う農業体験など、豊かな自然に触れる機会を提供しています。

山口も～やっこ地域力協議会 買い物移動支援「やまぐちの孝行息子」



買い物に困窮している高齢者等を、ボランティアドライバーが自家用車でスーパーマーケットに送迎しています。

新郷地域力推進協議会 新郷連区防災訓練



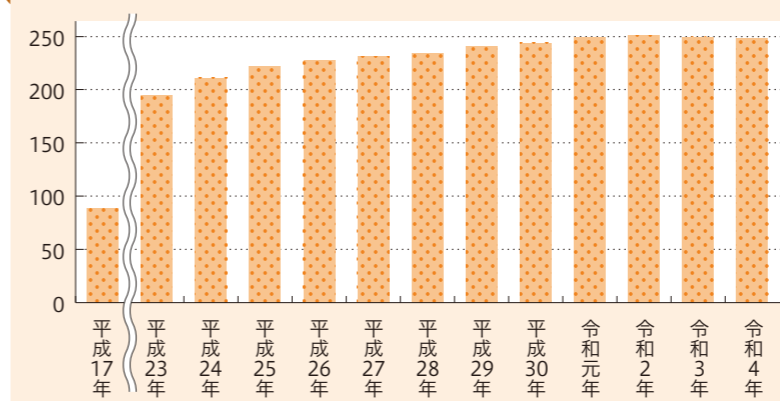
各家庭内での訓練のほか、避難所で初期消火や応急手当などの訓練を行っています。また、地域独自で防災動画も作成し啓発活動を行っています。

市民活動

Civic Activities

Since the occasion of the World Exposition in 2005, the mechanism of self-help and mutual aid has spread around the communities. Today, more than 240 groups are working actively to make the city a better place to live. The next step is to take advantage of the expertises and abilities of civic groups and NPOs to collaborate with government, local regions, and schools to meet even more diverse regional needs and challenges.

瀬戸まちの活動センター登録団体数の推移



瀬戸市では、平成17年に開催された愛・地球博を契機に地域活動や市民活動の取り組みが着実に増えており、「自立し、助け合う社会の仕組み」が地域に広がっています。平成17年度に発足した市民活動センター（現：瀬戸まちの活動センター）への初年度登録団体数は89団体でしたが、令和4年度には248団体と約2.8倍に増え、様々な分野で活動が行われています。こうした中、市民活動に期待される次のステップは、市民活動団体、NPOが持つ専門性や行動力を活かして、「行政や「地域」「学校」などと連携し、さらに多種多様となるニーズや地域課題に 대응していくことです。今後も、若者から高齢者、障害者など全ての市民が持っている能力を発揮できる仕組みづくりに取り組むとともに、市民自らが地域課題とその原因を探り出し、様々な主体と協力して課題解決に取り組む活動を推進します。



とくとく交流会
「協働のまちづくり」をテーマに、市民活動団体と市職員がまちの課題を解決するためのアイデアを出し合いました。



瀬戸まちの活動センター

交流フェスタ Koryu Festa

市民活動の輪が広がっていくように、団体の活動発表やブース展示などを行い、市民や市民活動団体同士の交流の場として開催しています。

